

令和8年8月1日(土) 「第13期Bコース修了式」

令和8年8月1日(土)に、第13期Bコースの修了式が東京都教職員研修センター視聴覚ホールで行われました。修了生、修了生保護者、教育庁関係者が列席しました。

研修生は令和6年7月に次世代リーダー育成道場に入校後、国内での事前研修と約1年間のアメリカ又はカナダでの留学生活を経てこの修了式を迎えました。

はじめに、74名の研修生一人一人に次世代リーダー育成道場副道場長から修了証書が授与されました。

修了証書授与後に副道場長から、留学を通して身に付けた多文化理解力や協働力、コミュニケーション力を生かし、学びの成果を地域や社会に還元するとともに、夢や目標の実現に向けて主体的に行動していくことへの期待が述べられました。

続いて、修了生代表の言葉では、「留学がどのような思い出の形として残っているかは人それぞれだと思います。ここにいる研修生それぞれが困難にぶつかり、その度にいろいろなアプローチをして、時には失敗して、それでも諦めずに挑戦し続けて、乗り越えてきました。留学前よりもはるかに成長した姿でここにいると思います。10か月で自分の生き方や、考え方、感じ方、価値観を変えることができると実感してきたと思います。自分が大きく成長した経験は、いつかまた辛いことがあった時に必ず自分を支える糧になります。私たち13期Bコース研修生は入校式からの時を経て、大きく成長して帰ってきました。修了の時を迎える今、私たちがすべきは、私たちが得たスキルを自分の未来のために使うだけでなく、東京、日本、そして世界の未来を支えるグローバルな人材となるために使うことだと思います。」と留学の経験を踏まえて、さらに成長しようとする姿勢が、深く印象に残りました。

研修生は、次世代リーダー育成道場のプログラムを修了した達成感を感じていました。



13期Bコース研修生ゼミナール1班～3班



13期Bコース研修生ゼミナール4班～5班

※一部画像を修正しております

令和8年8月1日(土) 「第13期Bコース成果発表会」

1年間にわたるアメリカ又はカナダでの留学を終えた第13期Bコースの修了生が、留学及び研究の成果を発表しました。

英語スピーチでは、代表4名が「Finding My True Self」「Experience through Model United Nations」「My Journey」「Being a Consistent Actionist」をテーマに、それぞれの学びや成長について発表しました。

ジェスチャーを交えながら話す修了生もあり、4名全員が自信に満ちた落ち着いた落ち着いたスピーチを披露しました。自ら一歩踏み出して挑戦することの大切さ、多様な価値観との出会いを通して自己理解を深めたこと、そして留学で得た学びを今後の人生や社会に生かしていきたいという思いが共通して語られました。



英語スピーチ

ゼミナール研究では、日本語発表と英語発表がそれぞれ行われました。まず、「プラスチック廃棄物の今後の在り方～政府・企業・消費者が連携したリユース促進とナノテクノロジーの活用～」という研究テーマで発表してくれた修了生は、日本とカナダの比較調査やアンケート、専門家へのインタビューを基にプラスチック廃棄物問題を多角的に考察し、循環型社会の実現に向けた具体的な提言をまとめていました。環境問題という地球規模の課題に対し、多角的な視点から解決策を探究した意欲的な研究発表でした。

続いて、「Using American and Japanese Technologies to Control Desert Locusts in Ethiopia: A New Hybrid Framework」という研究テーマで発表した修了生は、エチオピアで深刻化するバッタ被害をテーマに、日本とアメリカの先進技術を組み合わせた対策を提案しました。バッタ被害からバッタ被害からエチオピアの食料問題というグローバルな課題に着目し、日米それぞれの技術的な強みを生かした解決策を示すとともに、技術活用だけでなく現地の実情や持続可能な運用の視点まで踏まえた研究発表でした。

いずれの研究も、日本での事前研究と留学先での調査・探究活動を基盤として進められたもので、研修生が約2年間にわたる学びの成果を発揮するとともに、留学を通して視野を広げ、大きく成長したことがうかがえる内容でした。



ゼミナール発表



代表生徒

また、今回は初めて成果発表会を一般公開し、次世代リーダー育成道場に関心のある小・中学生やその保護者、高校生など、多くの方々に御来場いただきました。

成果発表会終了後には第2部を実施し、次世代リーダー育成道場の事業説明に加え、グローバル人材育成部が実施する短期留学プログラム「Global Challenge」及び海外派遣研修プログラム「Global Visit」についても紹介しました。

その後の質問ブースでは、社会人として活躍する修了生や大学で学ぶ修了生、更に成果発表会で発表を行った第13期修了生も参加し、来場者からの留学や進路に関する質問に直接答えました。参加者は、修了生のリアルな体験談や学びに触れながら、将来の進路や留学への理解を深める有意義な時間を過ごしました。



修了生(社会人・学生)による質問ブース



修了生（13期Bコース）による質問ブース